

「夢・感動あふれる人づくり」〜那須町GIGAスクール構想〜

○GIGAスクール構想とは

ICT技術の社会への浸透に伴い、教育現場でも先端技術の効果的な活用が求められる時代となりました。文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」は、こうした社会の変化を受けて、小中学校などの教育現場で児童生徒各自がパソコンやタブレットなどのICT端末を活用できるようにする取り組みのことです。

※「GIGA」とは

「Global and Innovation Gateway for All（全ての児童生徒のための世界につながる革新的な扉）」

○GIGAスクール構想スタート!

国の方針を受け、令和3年度から「一人一台タブレット端末」を導入しています。児童生徒の個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びを進め、自立した児童生徒の育成を目指しています。

授業が大きく変わります!!

①自分たちで撮影・録画・管理

校外学習や観察・実験の際に、カメラ機能を使って訪問先の様子や観察したい植物などの画像を記録します。また、朝の会や帰りの会で生活ノートとしても記録します。

②自分の考えを整理・深化

写真や動画などを組み合わせでデジタルリーフレットや学校紹介資料などを作ります。紙媒体と違い、試行錯誤が容易になり、満足度の高い作品ができあがります。

③お互いの考えや意見を整理

授業支援ソフト「ロイロノート」などを使い、話し合い活動を行います。お互いの意見の違いを恐れず、原因を調べながら最終的に合意できるように、根拠をもって話し合いを進めます。

④協働学習

グループ内で分担して活動できます。「Google Workspace」などの協働作業ができるアプリを使用し、互いの作品を共有しながら作品を仕上げるができます。



▼問合せ 学校教育課 ☎ 6922

〜東陽小学校の実践〜

4月から一人一台のタブレット使用が可能になり、東陽小学校でも学校生活が大きく変わってきています。まず、授業中にAI（人工知能）を搭載したアダプティブ・ラーニング（適応型学習）教材「Qubena（キューベナ）」

「ロイロノート」「カフト」などを積極的に活用しています。休み時間にプログラミングアプリや都道府県の名前や形等を学べる地図パズルアプリに取り組み児童も見られ、お絵描きソフトでユニークな作品を仕上げる児童もいます。今後も効果的な活用の仕方について、児童とともに考えていきます。

また、NPO法人「みんなのコード」と連携し、プログラミング学習に取り組んでいます。

4年生は、「マイクロビット」の無線情報伝達システムを利用し、無線おにごっこを計画しています。スマートフォンで家電が動かせる時代になり、より便利な生活にするためにどのような工夫が必要かを考えていきます。

5年生は、「スクラッチ」というアプリで、楽しく学ぶ工夫を考えながらタイピングに取り組んでいます。5年生が作成したタイピングゲームを他の学年でも使用して、学校全体でタイピングが上手になるきっかけになればと考えています。

6年生は、AIについて学んでいます。

す。グー・チョコキ・パーの形にした手の写真を数十枚撮影し、手の形をAIに学習させ、自分の出した手の形をAIで判別させる活動を行い、AIの基礎について学ぶことができました。写真だけでなく、音や言語などもコンピュータに認識させることができることを知り、生活向上のアイデアが多く出てきています。

4月から始まったばかりのGIGAスクール構想の実践です。試行錯誤を繰り返しながら、授業での効果的な活用方法や家庭学習での取り組み方法など、工夫を凝らして更なる可能性を実現したいと考えています。



※今月号から町内小中学校のGIGAスクール構想に関する取り組みを紹介していきます。